

2019年度第2四半期決算概要

(2019.12)

株式会社 **KVK**

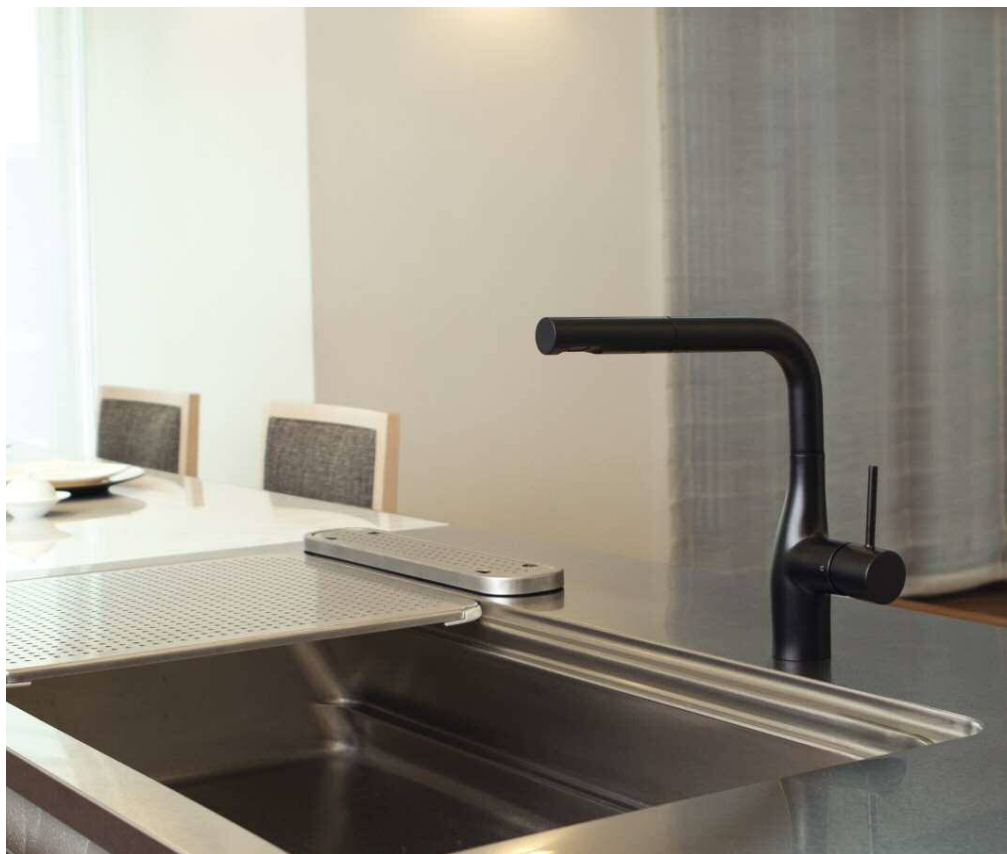
CODE 6484

問い合わせ先: 経営管理本部長 小関智晶

TEL: 0574-55-0006

e-mail: info@kvk.co.jp

URL : <http://www.kvk.co.jp/>



〔注意事項〕

本資料記載の予想・見通しなどは、当社が資料作成時点で入手可能な情報に基づくものであり、情報の正確性を保証するものではありません。

経営環境の変化などにより、実際の業績は当初の見通しとは異なる可能性があることをご承知おきください。

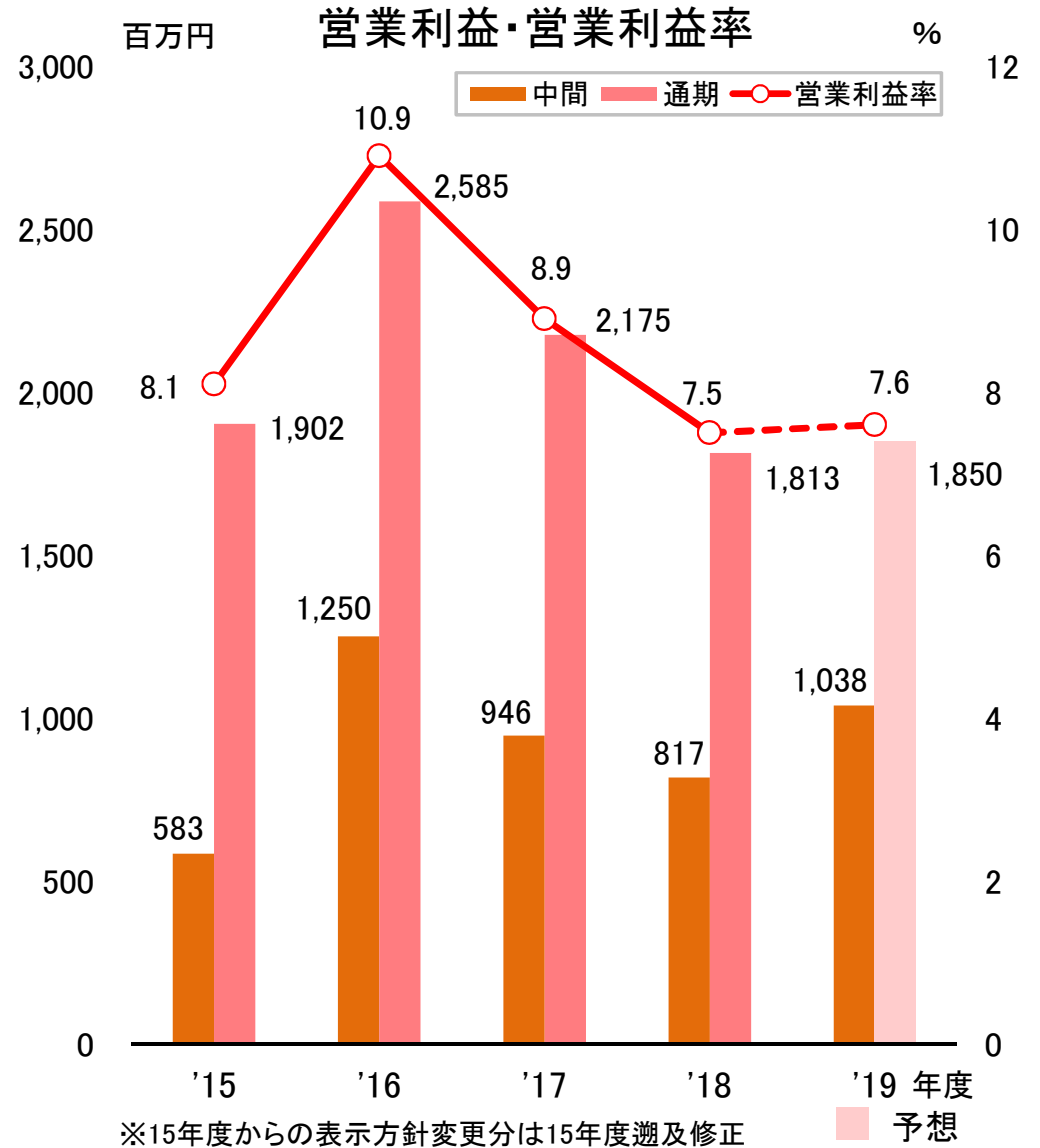
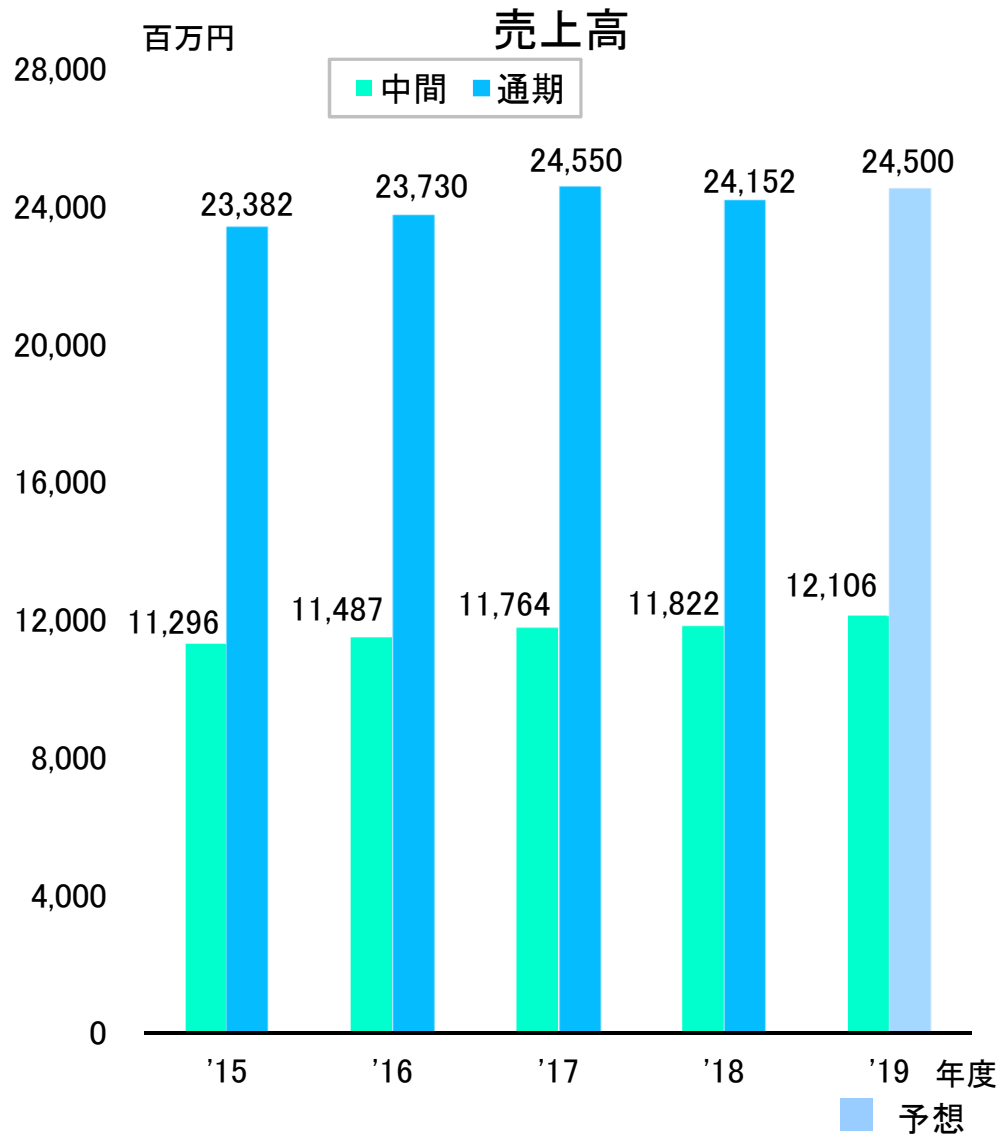
決算ハイライト (中間決算)



【連結】 (単位:百万円)	2018年度		2019年度		増減		2018年度	
	1H実績	売上高比	1H実績	売上高比	増減額	増減率	実績	売上高比
売上高	11,822	100.0%	12,106	100.0%	283	2.4%	24,152	100.0%
営業利益	817	6.9%	1,038	8.6%	220	27.0%	1,813	7.5%
経常利益	868	7.3%	1,130	9.3%	262	30.2%	1,928	8.0%
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	281	2.4%	779	6.4%	479	176.5%	924	3.8%
EPS	34.07	-	96.54	-	62.47		113.06	-

【単独】 (単位:百万円)	2018年度		2019年度		増減		2018年度	
	1H実績	売上高比	1H実績	売上高比	増減額	増減率	実績	売上高比
売上高	11,979	100.0%	12,200	100.0%	220	1.8%	24,501	100.0%
営業利益	635	5.3%	786	6.4%	150	23.7%	1,500	6.1%
経常利益	705	5.9%	854	7.0%	149	21.2%	1,957	8.0%
四半期(当期)純利益	163	1.3%	612	5.0%	449	275.4%	1,027	4.2%
EPS	19.74	-	75.95	-	56.21		125.59	-

業績推移 (連結)



品目別売上高比較(連結)

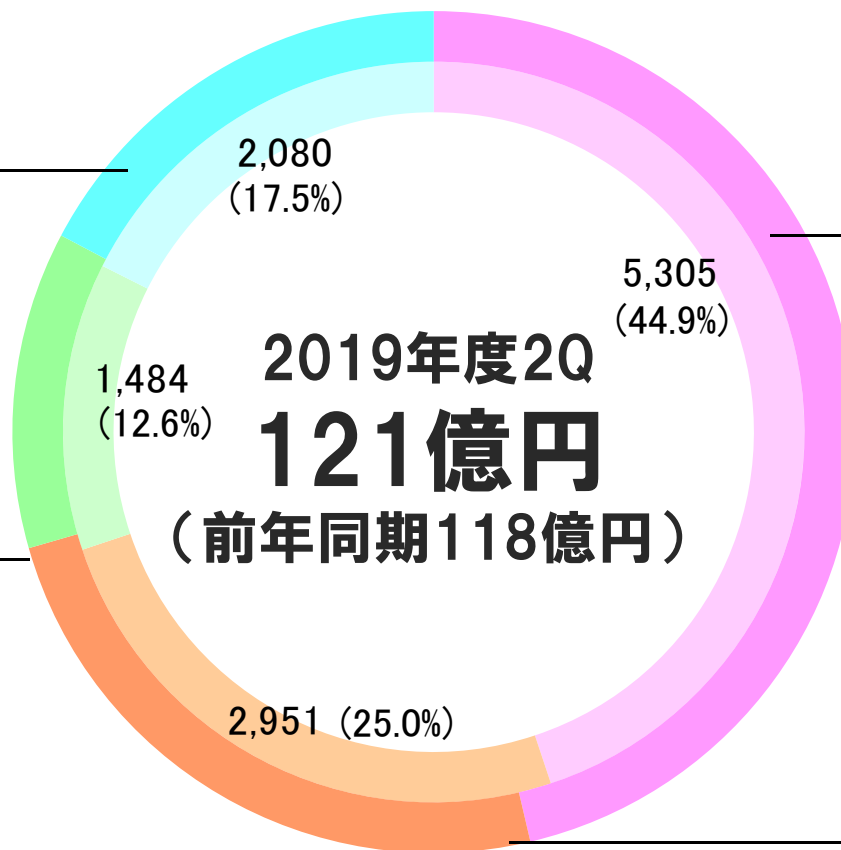


構成比



その他
2,090百万円, 17.3%

単独水栓
1,474百万円, 12.2%



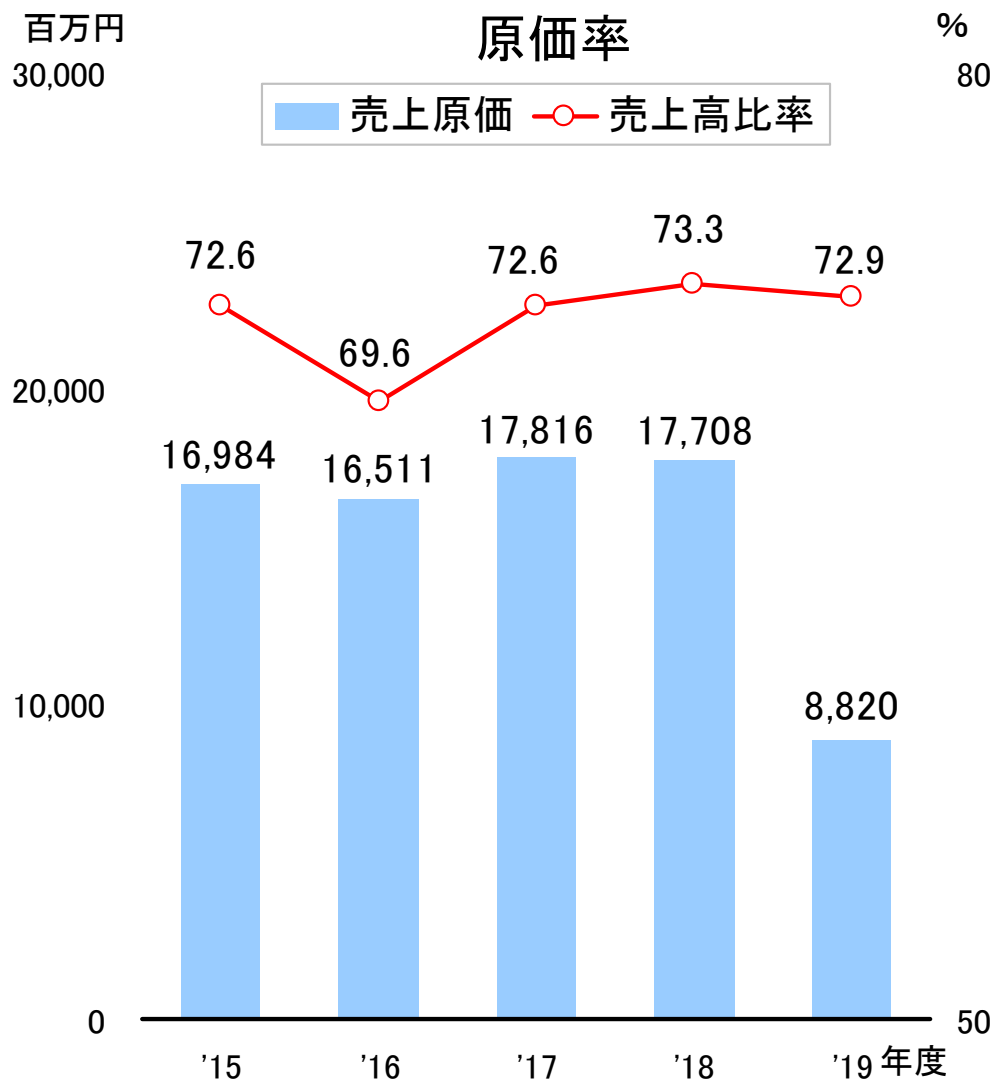
シャワー付湯水混合水栓
5,605百万円, 46.3%



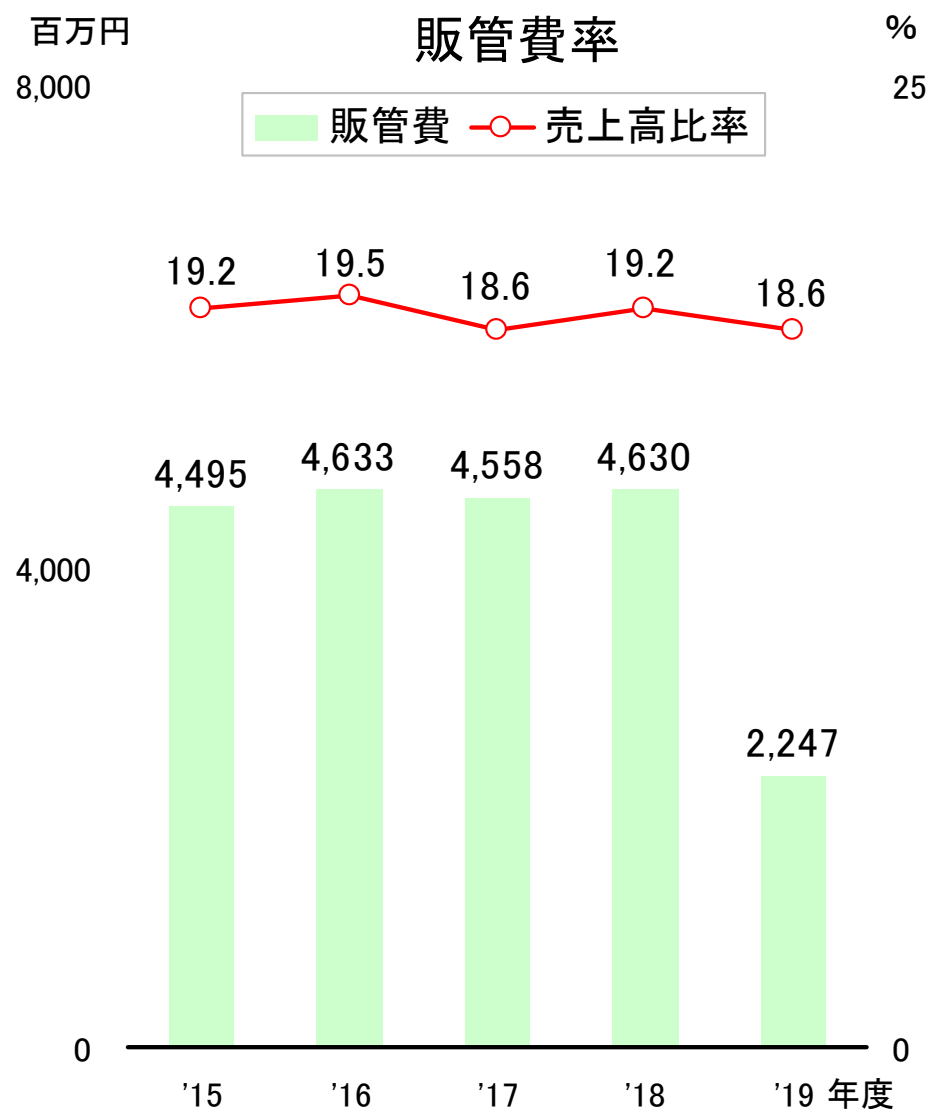
湯水混合水栓
2,935百万円, 24.2%

※内側は前年同期、2Qは4~9月

原価率・販管費率 (連結)



※19年度は第2四半期(4-9月)の数字です。



※15年度より受取家賃の表示方針変更に伴い15年度について遡及修正
 ※19年度は第2四半期(4-9月)の数字です。

貸借対照表 (連結)

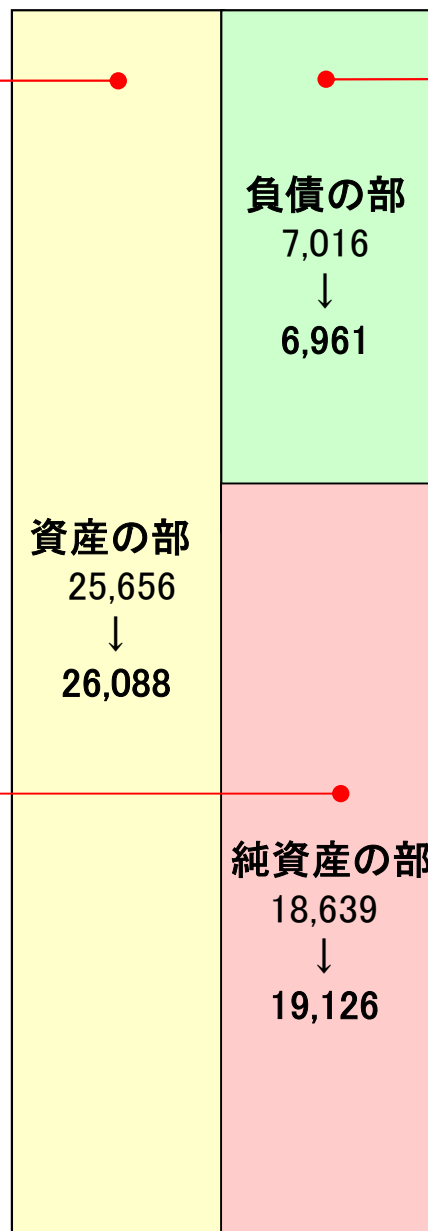


資産の部 +432百万円

流動資産は、前期末に比べ161百万円増加し、15,272百万円となりました。これは主に、現金及び預金の増加によるものです。
固定資産は、前期末に比べ271百万円増加し、10,816百万円となりました。

純資産の部 +487百万円

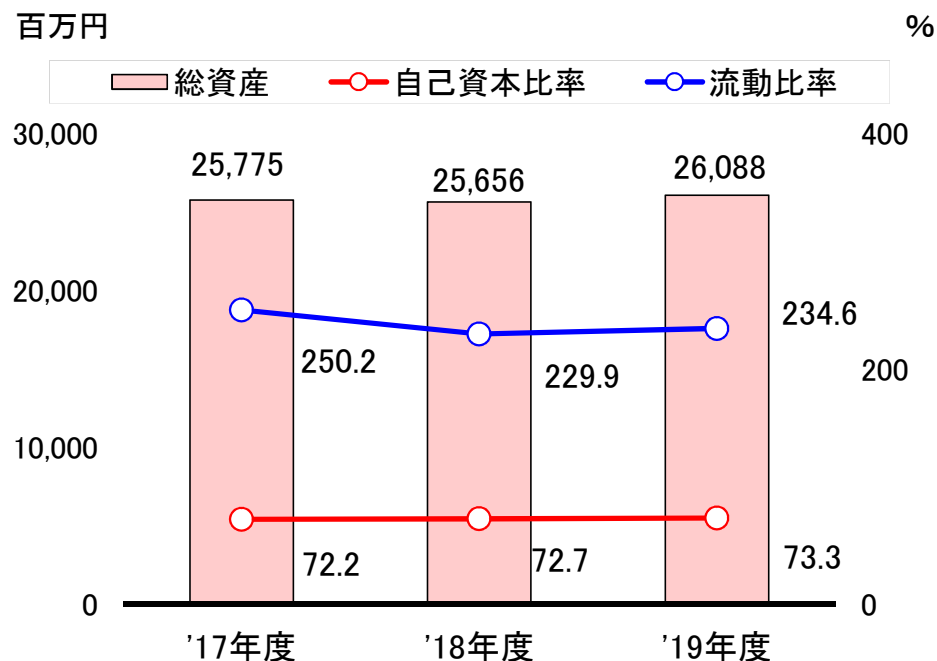
純資産は、前期末に比べ487百万円増加し、19,126百万円となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものです。この結果、自己資本比率は前期末に比べ0.6ポイント増加し、73.3%となりました。



※単位:百万円 前期末との比較

負債の部 ▲54百万円

流動負債は、前期末に比べ63百万円減少し、6,510百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少によるものです。この結果、流動比率は前期末に比べ4.7ポイント増加し、234.6%となりました。
固定負債は、前期末に比べ8百万円増加し、451百万円となりました。これは主に、役員株式給付引当金の増加によるものです。

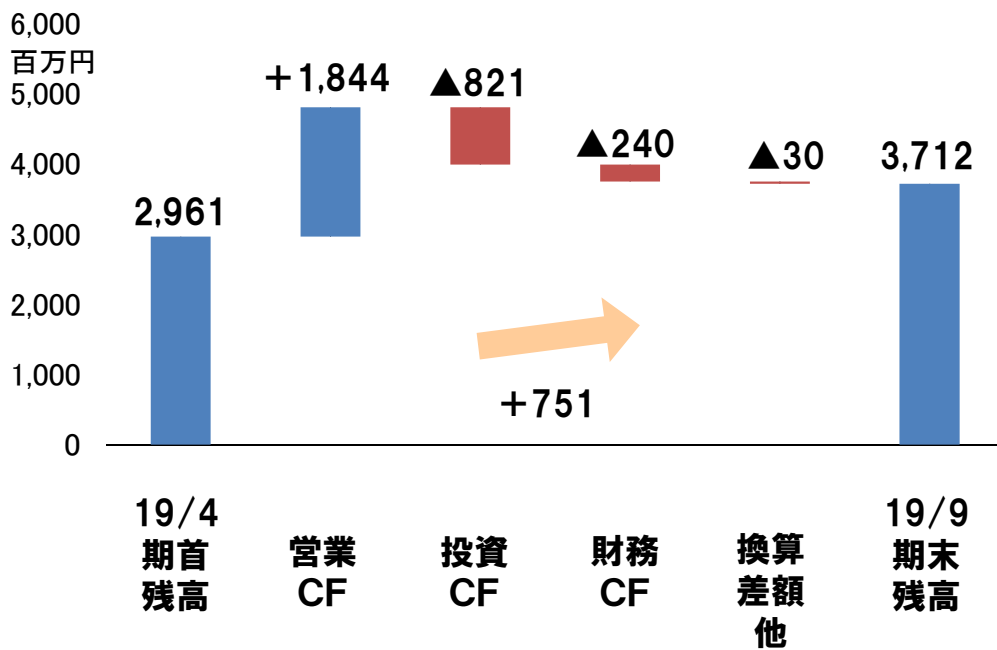


※'19年度は第2四半期末の数字です。

キャッシュ・フロー（連結）

KVK

（単位：百万円）



科目	'18/9	'19/9	増減額	'19/3
税金等調整前四半期(当期)純利益	414	1,127	+ 712	1,358
減価償却費	409	421	+ 11	818
減損損失	294	-	▲ 294	294
法人税等支払	▲ 419	▲ 89	+ 330	▲ 765
運転資本	212	418	+ 206	▲ 22
その他	▲ 326	▲ 33	+ 293	4
営業活動によるキャッシュ・フロー	584	1,844	+ 1,260	1,687
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲ 281	▲ 821	▲ 540	▲ 2,319
財務活動によるキャッシュ・フロー	▲ 594	▲ 240	+ 354	▲ 833
現金及び現金同等物に係る換算差額	▲ 3	▲ 30	▲ 27	▲ 11
現金及び現金同等物の増減額	▲ 295	750	+ 1,046	▲ 1,477
現金及び現金同等物の期首残高	4,417	2,961	▲ 1,455	4,417
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	21	-	▲ 21	21
現金及び現金同等物の期末残高	4,143	3,712	▲ 430	2,961

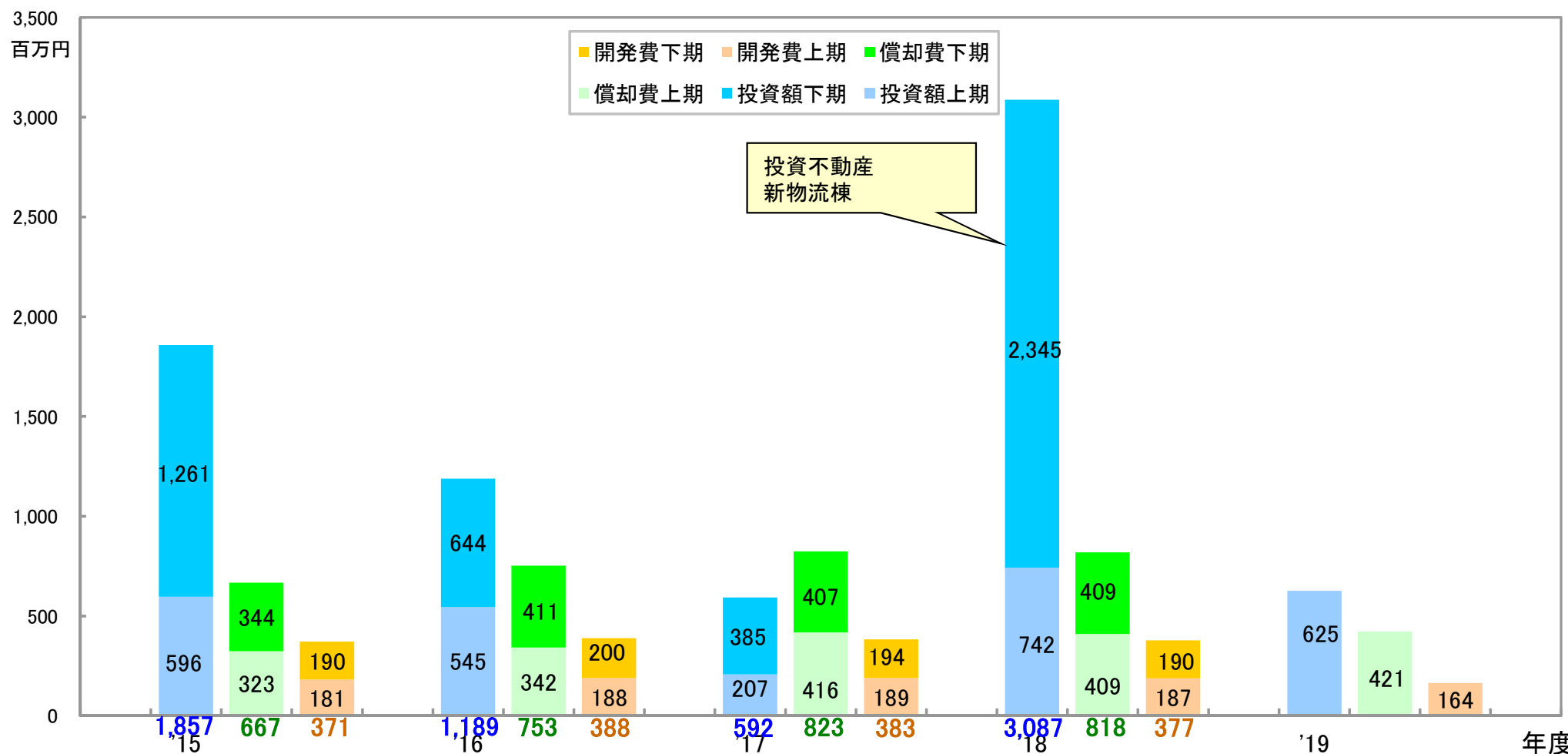
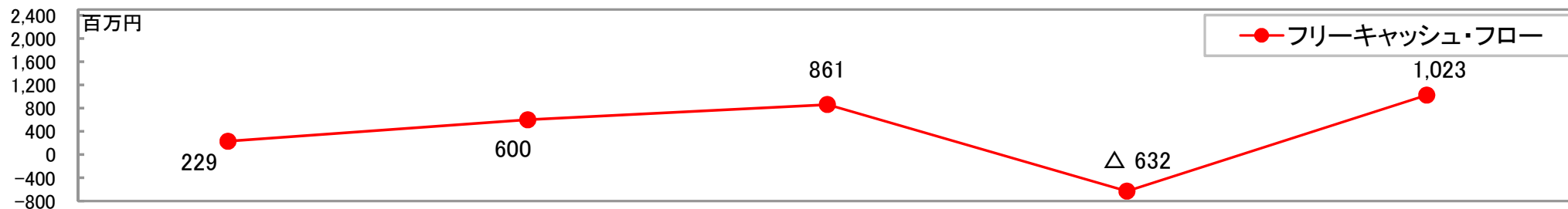
※運転資本＝売上債権の増減額+たな卸資産の増減額+仕入債務の増減額

営業活動によるキャッシュ・フロー
前年同期に比べ、1,260百万円増加し、1,844百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益の増加と売上債権の減少などによるものであります。

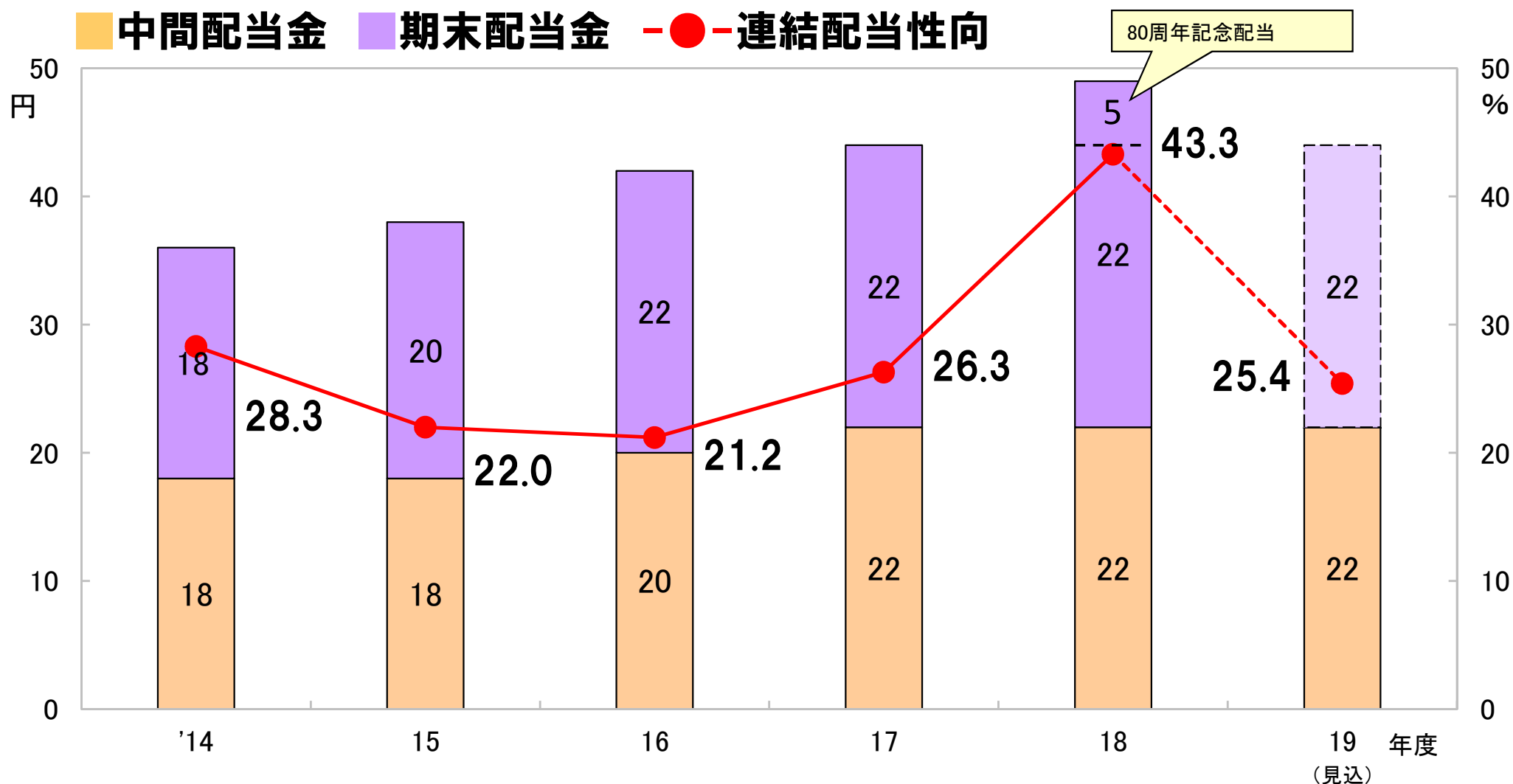
投資活動によるキャッシュ・フロー
前年同期に比べ、540百万円支出が増加し、821百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー
前年同期に比べ、354百万円支出が減少し、240百万円の支出となりました。これは主に、配当金の支払によるものです。この結果、当第2四半期末の現金及び現金同等物の四半期末残高は、前第2四半期末に比べ430百万円減少し、3,712百万円となりました。

設備投資・減価償却費・研究開発費(連結)



1株当たり配当金



※表中の配当金額は2017年10月1日付の株式合併に伴い、2014年度の期首に株式合併が行われたと仮定して算出しています

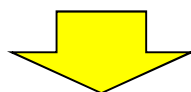
配当利回り(配当/株価)	2.8	3.1	3.5	2.7	3.2	2.8	%
株価	636	610	596	1,615	1,525	1,600	円

※株価: 日々の終値の平均('19年度は4~9月の平均)。「19年度配当利回り」は'19/9/27終値(@1,557)で算出。配当性向: 配当/1株当たり純利益

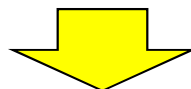
2019年度重点施策進捗

KVKグループを取り巻く事業環境

- 為替・材料価格・受注の変動
- 少子・高齢化→世帯数減少→新設住宅減少→他社との競争激化
- 量から質への住宅政策の転換
(住生活基本計画によるリフォーム需要後押し)
 - … リノベーションの時代到来
 - … 震災による住宅価値観の変化(省エネ・防災・耐震性など)
- 安全安心、健康、心地よさ、環境共生への関心の高まり



消費構造の変化、ニーズ・価値観の多様化で
新しい需要が創出され大きなチャンス



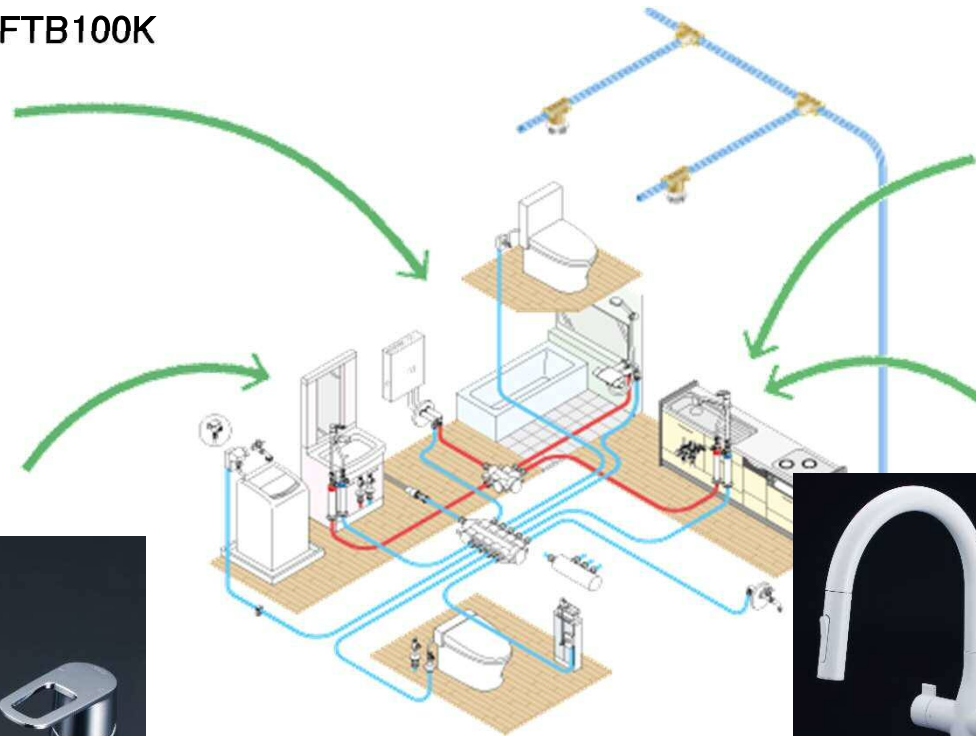
- お客様の新生活スタイルを提案する市場創造型の
商品・サービスづくり
- 変種・減量に対応できるモノづくり

市場創造型の差別化商品づくり

～安全・安心、品質、コスト、省エネ・環境、心地よさ・デザイン～



サーモスタット式シャワー
上：FTB100KT
下：FTB100K



MSK110KET
シングルレバー式混合栓



FSL120DET
シングルレバー式洗髪シャワー



KM6081SCECM4

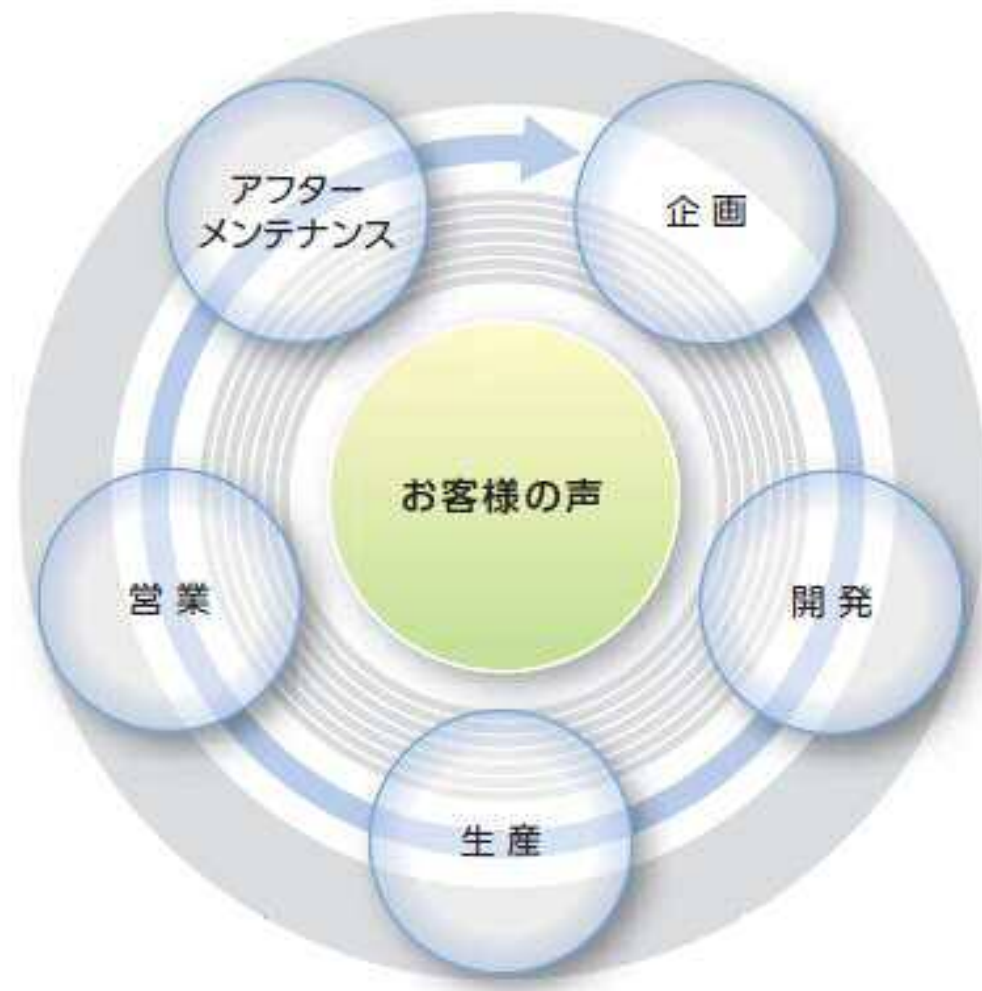


KM6081SCECM5
浄水器付シャワー引出しタイプ水栓

“お客様起点”でサイクルを回す

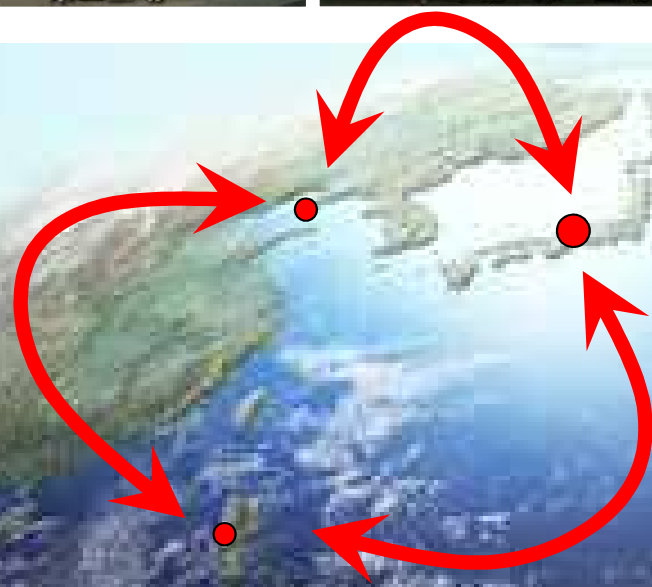
～お客様の声を
営業活動・製品づくりへ～

お客様から“水栓はKVK”と
選ばれ続ける**KVK**ブランド
を確立し、新たな顧客価値を
創造する。



3拠点による最適生産体制の構築

日本、中国大連、フィリピンの3工場の強みを活かした
グローバルな最適生産・最適部材調達の構築



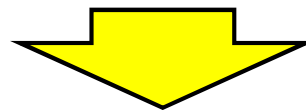
業界No.1へのこだわり(品質・納期・コスト)

①工程面:「ジャスト・イン・タイム」

(必要なモノを必要なタイミングで届けるためのモノの流し方)

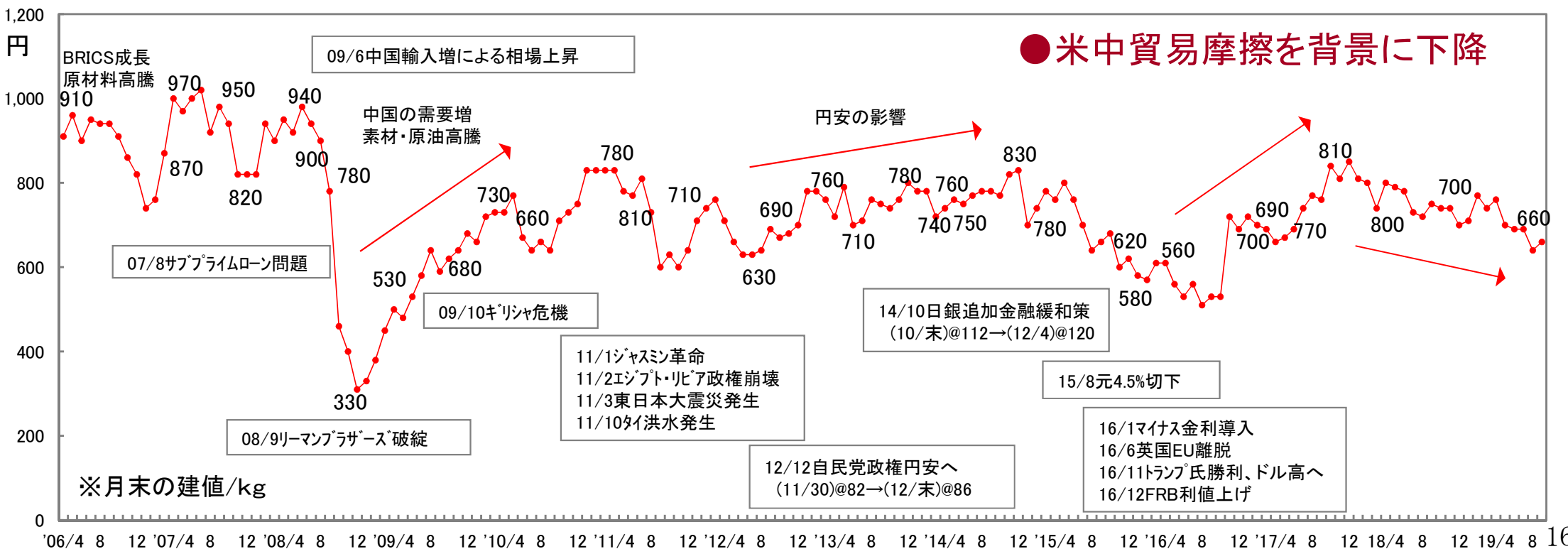
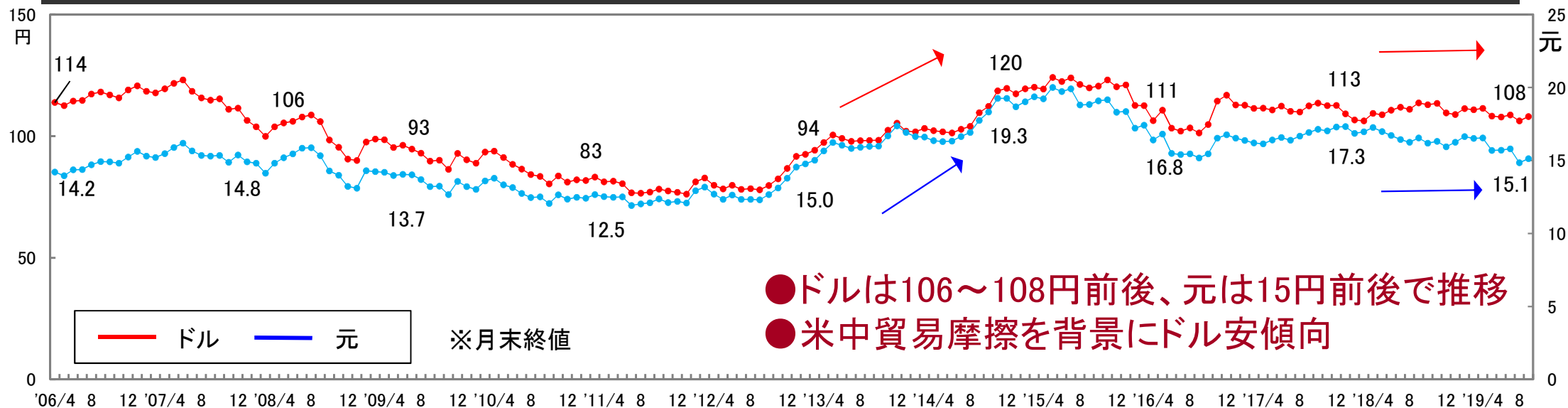
②作業面:「自働化」

(良いモノをより安くつくる)



「変種・減量に対応できるモノづくり」

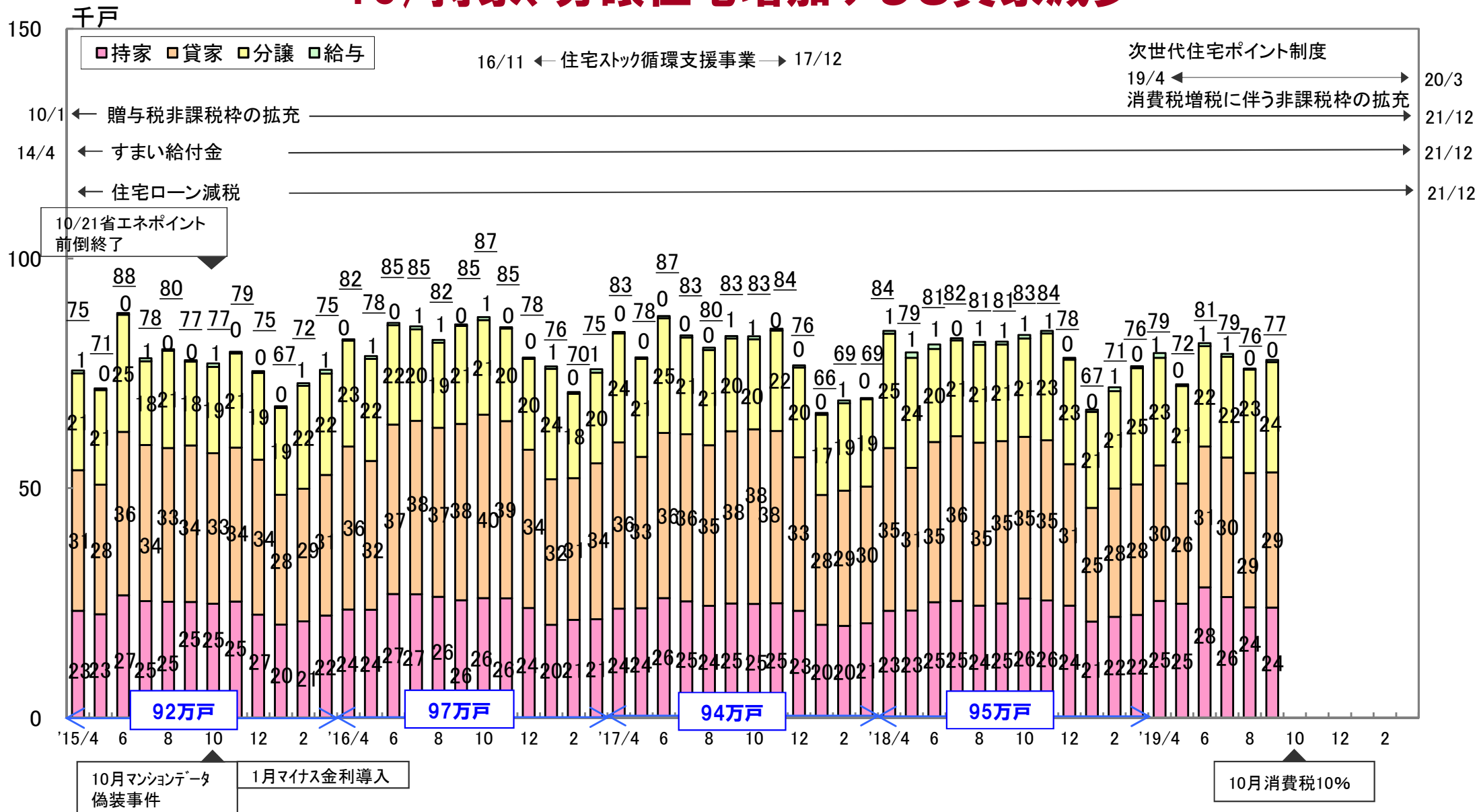
(市況) 為替・銅価格



(市況) 月別新設住宅市場



19/持家、分譲住宅増加するも貸家減少



※資料：国土交通省

KVK



お客様とともに“快適な水まわり”を創造する。